

もりの克彦

かつひこ

〒522-0025 滋賀県彦根市野田山町485 ☎ 0749-46-5546 ✉ morino@siren.ocn.ne.jp

ご挨拶

皆様、お世話になっております。
先の選挙では、後援会の皆様のご支援・ご協力のお陰様で、
当選させて頂くことができました。
遅くなりましたが、心より御礼申し上げます。
一票を投じて頂きました皆様のご期待に添えるように、しっかりと勉強し、
たくさんのご経験を経て、議員として成長できるように
頑張つてまいりますので、引き続き、ご支援・
協力頂きますようお願い申し上げます。

もりの克彦

検索

http://morino-katsuhiko.com

もりの克彦

1日かけて新議員対象の施設見学に行ってきました！

佐和山小学校は偶然にも息子の通う小学校で、給食を食べると
いう行程になっていました。全クラスを回ってから私は3年生
の教室で子供たちと一緒に給食をいただきました。給食費は一
食 239 円です。一年以上集団登校を共にしているので、各学
年に知った子供たちがいてみんな声をかけてくれました。給食中
も子供らしい質問をたくさんしてくれて可愛かったです！この
子供たちの笑顔を守っていかなければいけないと切に感じました。
中央町仮庁舎では、テレビで見たことがあるような、災害対策
本部となる設備が整っていました。知らないだけでしっかりと
した設備をされていることがわかりました。

一日通してかなり勉強になりました。この機会を無駄にする
ことなく更に彦根のことを学んでいこうと思います。

写真のほか「福祉センター」「佐和山小学校（給食）」
「中央町仮庁舎」「くすのきセンター」も訪問

市立病院



市立病院屋上のヘリポートです。月に 2、3
回の出動があるようです。彦根市内 360 度を
見渡せました。



上から給食センター、人権福祉交流会館、消防本部▲

愛のりタクシー検証！してみました

最近、毎日のようにニュースになっている高齢者ドライバーの免許返納の件。
簡単に返納とは言うものの、その後の生活はどうなるのでしょうか。今まで車に乗っ
て自由に動いていた方の生活…野田山町の方からもたくさん不安の声をいただいで
いました。選挙中の演説で何度もお伝えしていたことですが、『いつかは来る高齢者
の立場、その立場に立って物事を考えていく』ということを実行するためにも、高
齢者ドライバーが免許を返納した後の生活を実際に計画し試してみました。

検証コース

野田山町の事務所発

彦根市立病院

ビバシティで買い物

野田山町まで帰る

野田山町バス停→正法寺変電所前

バスは正法寺の変電所前で下車。
そこからフレンドマートまで歩き、フ
レンドマートの前で予約しておいた愛
のりタクシーに乗り込みます。（後で
分かったことですが、原のかくみや醬
油さん前にも『愛のりタクシー』乗り
場がありました。変電所前からだとそ
ちらの方がずいぶん近くでした。）

バス：210円



フレンドマート→市立病院

市立病院に到着です。
市立病院からはバスで南彦根
駅に向かいます。

タクシー：400円



市立病院→南彦根駅

南彦根駅から歩いてビバホームに到着！
ここで用事が入り急遽事務所にもどるこ
とに。愛のりタクシーに問い合わせた
ところ、ビバシティからは1時間に1本
しか出ていないが、友仁山崎病院からは
30分に1本出ているということだった
ので徒歩で友仁山崎へ移動。そこからタ
クシーで戻りました。

徒歩：0円



タクシー：400円

初めて『愛のりタクシー』を利用してみて

タクシーはなかなか快適で便利でした。が、野田山からフレンドマ
ートまでがバス移動と歩きで乗り換えだったので、毎度となると面倒
かと思えます。足腰に負担がかかる高齢者にとっては大変なことだ
と思われま。担当部署に聞くと、野田山町には 306 号線沿いに
近江バスの多賀線が走っているの、バスの経路とは重複しないよう
に、とのことで『愛のりタクシーのりば』がないという答えでし
たが、この辺りはもう一度検討していただきたいと思っています。
やはり免許返納後の日常生活となれば便利に面倒なく頻繁に使える
ことが重要かと。せめて一つの町に一つの『愛のりタクシーのりば』
が欲しいと感じました。タクシーに対し近江バスは乗車客が 2～3
人と、どう見ても採算が取れていないように見えますし、実際に路
線も縮小されてきているようなので、こちらを見直して、

『愛のりタクシー』をもっと広げていくといったことも考えてい
ただきたいというくらいの便利さでした。タクシーならではの小
回りの効く感じと、運転手さんが近くにおられる感じも馴染みや
すい感じがします。タクシーでは実際に居合わせた高齢者の方にお
話を聞いてみると、「こんなに便利なもの、もっとみんな使えば
いいのに。」とおっしゃっていました。『愛のりタクシー』のこ
とをどれだけの方が知っておられるのでしょうか。周知不足を感じま
した。免許返納を訴えるなら、それに代わる手段を提示しなければ
いけません。もっとしっかり『愛のりタクシー』の周知と便利さ
を伝えられ、高齢者ドライバーの生活における不安が解消され
ば免許返納も難しい話ではなくなってくるかもしれない、と感
じる結果でした。

平成最後の統一地方選挙、彦根市議会議員選挙において初当選

令和元年彦根市議会議員となる。
1532 票、24 人中 14 番目で
初当選させて頂きました。

たくさんの応援をありがとうございました！
皆さまの応援が心に沁みました。期待に応えられるように頑張ります！

熱い選挙戦から早 3 ヶ月。

後援会の皆さまにはいろいろとお世話になりありがとうございました！初めての選挙戦、1 週間悔いなく全力で活動
させていただくことが出来ました！

これもひとえに皆さまのご支援、ご協力のおかげです。
これからは皆さまのお声を市政に届けていけるよう精一杯
頑張っていきます！



彦根市議会議員章はい用式・新議員研修

令和元年 5 月 7 日（火）より議員として始動！

連休明け、いよいよ彦根市議会議員として活動開始です。
彦根市役所本庁舎 5 階にて議員章はい用式。厳肅な雰囲気
の中で議員バッジを着けていただきました。

彦根市役所本庁舎 5 階は議場と会議室等のみ使用可能と
なっており定例会、その他限られた行事（子ども議会、議
場コンサート）の時だけ使用されています。

はい用式の後には新議員研修でした。昨年よりタブレットが
導入されているようです。



一般質問 6月定例会議

一般質問 1 日目、5 番目に質問させていただきました。質問内容は下記の通りです。

所 属 委 員 会

●市民産業建設常任委員会 ●予算常任委員会 ●広報委員会

所属会派は
公政会
です。



1. 市税の納付状況について

現在の彦根市で問題となっている税金の使われ方も、当然、市民の関心の高い事象だと考えますが、その納税自体が適正にされていない現状があるのであれば、その是正 に取り組んでいくことも、また重要であると考えます。

勿論、様々な理由で生活にお困りの方々については、個別に親身になって相談に乗り、個々の支払能力に応じた適切な対応やサポートをしていく必要がありますし、そうでない場合については、それぞれ状況に応じた適切な対応による業務の遂行により、その改善に取り組む必要があると考えます。今回は、その実態と取り組み内容、そして、その成果と今後の方向性について確認させて頂きたく、以下、質問させて頂きました。

(1) 市税の滞納と対策について

①滞納の現状とその原因、近年の推移について
市税の収納率は年々向上しており、多くは生活困窮者であるが、担税力があるにも関わらず滞納するケースもある。

②県下の他市町と比較してどうか
収納率は県内では東近江市の 97.9%につぐ 2 番目に高い 97.8% である。

③滞納者に対する対応は適切か
生活にお困りの方については福祉部署につなぐなど、関係機関と連携した支援が図れるようにしている。

④滞納率の減少と回収率の増加に向けての今後の対策について
文書だけでなく電話や訪問による早期の接触対応に努め、それぞれの状況に応じた適切な対応により、市税の安定的な確保に努めていく。

(3) 地方税のクレジット決済について

①彦根市の市税のクレジット決済の現状は
口座振替と比較すると、手数料がかなり高額になるため現状では導入していない。

②導入に伴う滞納率減少の検証について
すでに導入している草津市、東近江市に照会すると、現状では利用者は少なく、導入による収納率向上の影響はみられない。

③今後の予定と計画について
昨年 10 月から『PayB』を、今年度からは『LINE Pay 請求書支払サービス』、『楽天銀行コンビニ決済サービス』を導入している。今後も、導入された他市の利用状況や電子決済サービスの流れを注視しつつ検討していく。

2. 子どもの安全対策について

去年、13 歳未満の子どもが道路上で事件に巻き込まれた件数が全国で 573 件。その内の多くが登下校時に集中している現状にあります。先月も大津の県道交差点で乗用車が、園児らの列に突っ込み園児ら 16 名が死傷する事件が起きました。また、千葉県の上野市では、園児らが遊んでいた公園に車が突っ込むという事件も起こっています。そして、神奈川県川崎市では僅か十数秒の間に、刃物を持った男が、成人・小学生らを一斉に切りつけて殺傷する事件が起きています。このように、全国で高齢者ドライバーによる、運転操作のミス等による自動車事故、子どもの誘拐事件、また不審者による殺傷事件など、社会的弱者である子どもが巻き込まれ被害を受ける事件が、全国で多発している現状に鑑み、彦根市でもこのような事件がいつ起きてもおかしくないような時代であり、危機管理意識の向上と未然防止に向けた取り組みの強化が必要であると考えます。このような背景を受け、以下、子どもの安全対策についての、彦根市の取り組み状況と、今後の対策について、質問させて頂きました。

(1) 子どもの安全対策について (不審者)

①授業中の学校敷地内や建物への不審者の侵入リスクは
文部科学省が作成した『学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル』に基づき、学校の実情に応じた対策を行っている。

(2) 償却資産の申告について

①償却資産の申告の状況について
今年度の課税分については、約 4,300 件の申告があり、その約 8 割は期限内、残りの約 2 割は期限後の申告である。

②申告がされない場合の対応とその後の改善率
1 月 31 日の申告期限に申告されない方には督促を行い、その約 7 割が申告される。残りの約 3 割については、前年以前に申告実績がある場合には、資産増減がないものとして課税を行っている

③申告漏れ防止と適正な申告に向けて
今後、他市町で行われている様々な実地調査の方法を参考にに取り組んでいく。また、税務署や保健所からの情報、近年増加する太陽光発電装置に対しては経済産業省からの情報を得て、申告対象者の把握に努めていく。

④ふるさと納税の返礼品に地場産業の関連品は
本市のふるさと納税の返礼品は現在 163 種類。彦根市の 3 大地場産業では、『ファンデーション製品』を提供しており好評である。『仏壇産業』については、高額かつ資産性が高いため返礼品としての提供はできないが、仏壇技術を活用した食器などの商品や、金箔押し体験などの提供について、現在事業者と調整中である。『パルプ製品』についても、鉛フリー銅合金「ビワライト」を用いた文鎮などを返礼品として提供できるかどうか、現在事業者と調整中である。

議席は 13 番です！
ライブ配信でバッチリ
映る場所でした。



③不審者侵入時の対応マニュアルや訓練について
緊急時を想定した訓練を定期的に実施している。全ての小中学校の普通教室等の構内に警報装置を装備しており、不審者侵入時には直ちに職員室に通報される。撃退品としては各校に刺股を配布している。

④子どもに教えている対応の正当性について
事件の多様性や複雑化の傾向を受け、子どもにはケースバイケースの対応についての指導も今後検討していく。

(2) 子どもの安全対策について (事故)

①近年の登下校時の事故の現状と再発防止の取り組みについて

登下校時の交通事故件数は、平成 30 年度、小学生が 6 件、中学生が 14 件。小学生は低学年の下校時が半数近くで、中学生は自転車での登校中が 8 割である。小学校では地域やスクールガード等の協力を得ながらの見守り活動の充実を図っている。中学校においては道路交通法等の指導や時間に余裕を持った登校を指導している。

②千葉縣市原市の事故を受け公園などの施設の安全性の再検討は
夏季と冬季に実施している公園の安全点検を前倒しで実施している。特にフェンスや車止めの点検を十分に行い、異常があれば早急に対応を行う。

(3) 高齢者ドライバーについて

①彦根市の高齢者ドライバーの現状と近年の高齢者の事故件数と推移について
彦根市の 65 歳以上の運転免許証の保有者数は、5 年前と比較して増加。一方、高齢者ドライバーの事故件数は減少している。

②免許証の自主返納の状況と返納後の課題や問題点について
65 歳以上の高齢者の免許証自主返納の状況は、平成 30 年の 1 年間で 352 人と年々増加している。自主返納された高齢者の生活の利便性、買い物や病院などへの移動時の交通手段の確保が必要である。

3. 彦根市旭森学区の公共下水道整備の状況について

公共下水道の整備が昭和 57 年から始まって 37 年経過しますが未だ未整備地域が存在し、費用負担や利便性の面からも、いつになったらこの地域にも公共下水道がという声が聞かれます。このような現状を背景に以下、彦根市の公共下水道事業の現状と今後の予定について質問させて頂きます。

(1) 野田山町下水道整備の予定と進捗について

①彦根市の下水道事業の進捗と今後の計画について
平成 31 年 3 月末現在の人口普及率は 83.7%。令和 7 年度には一般的な整備を完了させ、令和 12 年度には農業集落排水施設の接続を完了し、本市の下水道整備を終了する予定である。
②これまでの計画予定とその実績とズレとその原因について
『彦根市公共下水道事業第 5 期経営計画』の進捗については大きな遅れは生じていない。

③今後の計画が予定通り進まない可能性とその根拠は
本市の財政状況が厳しい中、一般会計からの繰入金確保ができるか、また、整備に係る予算の多くを、国の社会資本整備総合交付金に依存しており、毎年この交付要件の見直しが行われているため、財源確保が重要な問題である。

⑤神奈川県川崎市での事件を受けて検討された対策は
文部科学省行政担当者連絡協議会で説明された内容をもとに、国、県の動向を踏まえ対応を検討していく。

⑥保護者や地域の方、関係機関との連携による対策は万全ですか
スクールガードの募集や散歩をしながらの「ながら見守り」を呼びかけ、関係機関・団体・市民と連携した地域全体での防犯への取り組みを強化していく

③危険個所についての改善要求に対する対応について
学校と教育委員会事務局、都市建設部、彦根警察署、県湖東土木事務所が合同点検を行い検討して対策を行っている。

④年間の要求件数と対応件数及び改善件数について
平成 26 年度からの 5 年間で抽出された危険個所は合計 377 個所であり、このうち 286 個所 (75.8%) の対策を終えており、残りの 91 個所については、今年度以降、順次対応していく。

⑤危険性の判断の妥当性と優先順位の正当性について
各校が危険性や優先順位を考慮し教育委員会へ報告している。その際、保護者、地域住民、自治会や専門的な知見をもつ通学路交通アドバイザーから意見や要望を聞き取っている。

③課題や問題点を解決するための具体的な取り組み内容は
公共交通機関としての「路線バス」や「愛のりタクシー」の充実を図っていく。自主返納者を対象にしたアンケート調査を行い、見つかった課題に対して積極的に対応していく。